

\\ピート・キャリルの\\ プリンスストン・オフense

日本語吹替版

DVD
VIDEO

“サイズや能力に関係なく、
練習と努力で習得できるオフense!!”



元プリンスストン大コーチ、ピート・キャリル氏が開発したプリンスストン・オフense。

このオフenseは、バックアップレイを狙いながら、ボールに対して選手全員が連動して、規律と自由の融合で相手を翻弄し、得点を上げます。選手のサイズに関係なく、全てのチームに適したオフenseです。ディフェンス側からすると、このオフenseを捕らえることは非常に難しく、変幻自在に動く相手に翻弄され、いつの間にか得点を重ねられてしまうという状態に陥ります。

NBAサクラメント・キングスを華麗な攻撃的バスケットへ変貌させたのもこのオフenseです。

このプリンスストン・オフenseをチームに取り入れて、オフenseで魅力あるチームに変貌させてみてはいかがでしょうか?



日本未紹介の最強オフense!!!!

◎明成高校 佐藤久夫コーチ推薦!!

バスケットボールがスムーズに上達するためには、理論的な理解度が高まっていくことと、技術の習得を同時に図る事である。元日本代表監督の中村和雄氏絶賛のプリンスストン・オフenseは、チームをつくる過程で選手に総理解を求める題材として最高のビデオである。3種類のオフenseフロア・ポジションから形成されるオフenseは、それぞれにバックアップレイをねらいながらディフェンスの対応の仕方によって逆を攻めるような変幻自在に変化していくオフenseである。センター不在のチームや個人の能力に頼らないチームづくりのヒントになる他に、アメリカ高校や大学コーチ陣のオフenseのバイブルになっている。

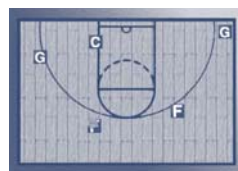
(明成高等学校 男子バスケットボール部 ヘッドコーチ 佐藤久夫)

DVD No.PC-S 全4枚 37,800円/各枚 9,450円 (税込・送料別)

□指導・解説/ピート・キャリル (元プリンスストン大学コーチ) □協力/サクラメント州立大学 (サクラメント・キングス)
□制作/フィーバー・リバー・スポーツプロダクション

- **PC-1. プリンスストン・オフenseの組み立て方 (77MIN.)**
- **PC-2. プリンスストン・オフense完成に向けたドリル (51MIN.)**
- **PC-3. プリンスストン・オフense ハイポストオプション (50MIN.)**
- **PC-4. プリンスストン・オフense チン・シリーズ (30MIN.)**

各巻の詳細は
裏面へ!



ジャパンライムのホームページ

<http://www.japanlaim.co.jp>

メール会員登録募集中!

お申し込み方法

- 送料は何巻でも525円となっております。ご希望のDVD No.を指定し、電話かFAX、もしくは、FAXにてお申し込みください。
- 表示価格は消費税込みの価格です。
- ホームページからのお申し込みもできます。

【記入例】

DVD No.
お名前
ご住所/TEL
お勤め先/TEL

お支払い方法

- 到着日指定の「代金引き換え」の宅急便でお送りしております。
- 学校公費及び教育機関、また個人研究費などでご購入の場合、必要書類は、担当者までお申し付けください。
- カード(JCB、VISA、AmericanExpress、MASTER、DC、UC、UFJ、NICOS、イオンクレジット、ダイナース、クレディセゾン、東急TOP&カード)もお取り扱いできます。(分割も可)

●お申し込みお問い合わせはお気軽に!

JLG ジャパンライム株式会社

03(5789)2061(代)

〒141-0022 東京都品川区東五反田1-19-7

FAX.03(5789)2064

変幻自在! どこからでも得点を獲れる最強オフェンス! //

PC-1. プリンストン・オフェンスの組み立て方 (77MIN.)

プリンストンバックドアオフェンスにおいて、キャリル氏は2つの原則を掲げています。

- ① 選手は自分の動きを目の前の味方に示すこと
- ② 厳しいマークを受けている場合はバックドアへ抜けること

この2つの原則を基本に、センターを中心に展開します。そのためセンターにはハイポスト、ローポストからのパス能力が必要とされます。また、バックドアカット、3ポイントシュート、ドライブからのピッチを含めたそれぞれのカットには数パターンの作戦や選択肢が用意されており、習得は難しいですが正しく用いれば華麗なオフェンスが完成します。

■はじめに

■オフェンスの基礎

■ローポスト・プレー

○フォワードのパス後の動き

○スクリーンプレー

■オフェンスの実践

○スクリーンプレー

○バックドアへの動き

■クロスコート

○ローポストからウイングへのパス

○ローポストからコーナーへのパス

○スイングパス

○スイングからセンターへボールを回す

○スイングパスができない場合はバックドアへ移動

○ウイングへスイングパス

■ワンガードフロント

○センターへパスした後の動き

■スクリーンのテクニック

■ボールから遠い位置でのスクリーン

○バックドアへのパスができない場合はスクリーナーへパス

○スクリーナーからボールを受けたトップの選手がウイングへパス

○ポストへのパスができない場合はトップへボールを戻す

○ドライブ・アンド・ピッチ

■ボールから近い位置でのスクリーン

○スクリーンからフォワードがシュート

○フォワードがコーナーへパス

○ローポストへのパス

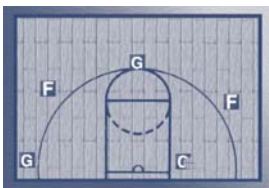
○センターがトップへポップアウト

○センターがバックドアへ移動

○センターがスピニングムーブからドライブ

■ガードがバックドアへ移動

■まとめ/最後に一言



PC-2. プリンストン・オフェンス完成に向けたドリル (51MIN.)

ここで紹介するドリルは、プリンストン・オフェンスを実践する上で必要な技術のドリルです。パス、ドリブル、シュートという最も重要な要素を身に付けるためにも役立ちます。習得するにはとても時間がかかりますが、基本的な技術がすべてのプレーに直結し、試合で役立ちます。

■はじめに

■演習の重要性

■ドリブルドリル

○クロスオーバー

○リバースドリブル

○適度なスペースを確保する

○インサイドハンド・ドリブル

○スイングパス

■フォワードドリル

○クロスオーバー・ドリブル

○スピンドリブル

■ドライブドリル

○スクリーンからのレイアップ

○スクリーン位置での切り返し

○バックドアへの動き

○バックドアパス

○ディフェンスをつけて練習

■シュートドリル

○4分間ドリル

○ウォームアップドリル

○ドリブルスクリーンドリル

■ドリルの重要性



PC-3. プリンストン・オフェンス ハイポストオプション (50MIN.)

この巻では、バックドア・オフェンスにハイポストのオプションが加わります。ハイポストを利用してプレッシャーをリリースしたり、ボールをリバースしたり、ペリメーター選手によるバックドア・カット等が可能となります。ハイポスト・プレーからローポスト・プレーへの流れを、実践を通じて説明します。また、サグ・ディフェンスや強敵に対する攻略法も紹介します。

■はじめに

■ハイポスト・オフェンス

■ターンアウト・カット

○エントリーパスがディナイされた場合

■ドリブル・エントリー

○センターによるポップアウト

○ディフェンス付き実演

■バックドア・カット

■ハイポストからローポストへ

○ドリブル・エントリーの場合

■サグ・ディフェンスを相手に

■ハイポストのドリル

■最後に



PC-4. プリンストン・オフェンス チン・シリーズ (30MIN.)

バックドア・シリーズの最終編では、「チン・シリーズ」(通称「シャッフル・カット・シリーズ」)をご紹介します。バックドア・カットやオン・ボール・スクリーンなど、シャッフル・カットから可能なオプションを紹介。このオフェンスの全てと共通で、2ガード・フロントを使い、全ての選手がパス、キャッチ、ドリブルのスキルを持ち合わせることが重要となります。

■はじめに

■チン・シリーズ(シャッフル・カット)

○チン・シリーズカッターがディナイされた場合

○ウイングがトップまでドリブルで戻る場合

○良いスクリーンの重要性

○ウイングへのスキップ・パス

○センターがターンしてドライブする場合

○センターによるバックドア・カット

○UCLA

○危険点

■チンからUCLAからローポスト・プレーへ

■最後に

